

R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT



水海道ロータリークラブ

本年度クラブテーマ

ENJOY ROTARY

SERVICE Above Self

2005-06 年度 国際ロータリー会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

例会予定

10月26日

米山奨学生卓話

11月2日

ロータリー財団月間に因んで

11月9日

外部卓話

11月16日

外部卓話

10月は職業奉仕月間・米山月間です

VOL. 43 No.15 (通算No.2055)

2005年10月19日(水)例会プログラム

点鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

公式訪問

萩原亢雄ガバナー



根本清美ガバナー補佐

2005～2006年度

会長 青木 清人

幹事 熊谷 昇

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30～13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://kinuyou.com/rc/>

本例会でのおもな事項

* 会長挨拶

* クラブ協議会

根本清美ガバナー補佐

ピジター

ガバナー補佐 根本清美様(牛久RC)

誕生祝

会員 松崎隆詞会員



諸報告

青少年育成並びにライラ委員会 (秋田政夫青少年育成並びにライラ委員)

10月14日～16日までライラ・セミナーを開催します。

今年の参加者は青少年73名、ロータリアン35名の計108名です。ご協力有難うございました。

1クラブ1プロジェクト企画委員会 (島田 勝副委員長)

識字率向上について……国際交流友の会への支援

11月3日友の会バザーへの品物提供(生活用品)。一人一品で不用品をご提供頂き、友の会へ寄付をする。

3年間程度、国際交流会友の会へスポンサー的支援を行う(年2万円)

行事等への参加を通じて水海道居住する外国人との交流機会を持ち、活動のあり方を検討していく。

社会奉仕委員会(島田 勝副委員長)

グランドゴルフ大会水海道地区

日時:10月23日(日) 8時30分現地集合でお願いします。

場所:水海道グランドゴルフ場

ご参加宜しくお願い致します。

米山奨学会 (田上秀雄委員長)

予定を達成する事が出来ました。今後とも宜しくお願いします。

幹事報告 (熊谷 昇幹事)

週報受理 藤代RC、石岡87RC

例会変更通知受理 藤代RC 10月24日(月) 午後5時より 東京プリンスホテル内レストラン

龍ヶ崎中央RC 10月21日(金) 例会場変更……割烹 き仙

10月29日(土) 12時30分 流通経済大学

会長挨拶 (青木清人会長)



皆様、こんにちは。

今日は、ガバナー補佐の根本様においでいただいております。会員一同ご歓迎申し上げます。いよいよ来週は公式訪問になりますが、今日は訪問前のご指導のためにおいで頂きました。後程お話しを頂く事になっております。宜しくお願い致します。

今日及び来週の公式訪問日は「ミールボックスデー」とさせていただきます。食費予算の半分はWCSのために使わせて頂きたいと思っておりますので、我慢の程お願いします。ガバナーも質素を重んじられております。(内に質素、外に奉仕)

先週の理事会の決定事項を御報告申し上げます。

1. 忘年会……12月10日(土)
2. 忘年会振替休会……12月14日(水)
3. 年末年始休会……12月28日(水)、1月4日(水)
4. 使命委員会……10月26日(水)例会終了後
5. グランドゴルフ大会……10月23日(日)4万円の協賛

話しは変わりますが、久しぶりにロータリーの友10月号を読みました。職業奉仕月間に因み、各地のロータリアンの職業奉仕感の寄稿が載っておりました。守谷RCの幹事の石沢さんも寄稿されており「周りが第一、自分が第二」「近江商人の理念と職業奉仕」

三方よし = 職業奉仕
↓
売手よし、買手よし、世間よし

「喜んでもらう喜び」=「顧客満足を得る」=「四つのテストは実践の第一歩」……

RI会長のステンハマー氏も事業において「四つのテスト」を本気で採用すべきですとっておられます。難しいと分かりにくい職業奉仕も、それぞれの立場のロータリアンの事を聞くと何となく分かる気がします。是非、ロータリーの友を読みましよう。

クラブ協議会 根本清美ガバナー補佐



ご紹介頂きました根本でございます。お蔭様で第8分区8クラブ中4クラブの公式訪問が終わりました。ガバナー補佐というのはこんなに忙しいのかと思えました。8クラブを4回ずつ回ると32日、地区の委員会は全部招集がかかり、大体60日。各クラブを楽しく回らせて頂きましてやって良かったなという気持ちが致します。私も20年間無欠席でやってまいりまして、今年のメーキャップを全部貯金でき、来年に回せたらもっと楽かなと思ながらも……(●^□^●)ハハ

しかし、20年と言うのがあっという間でして、私にとってのロータリーと言うのは、本当にロータリーに入って困った事が無かった思いが致します。仕事においても誰かに相談すると大体解決してくれる、この20年間私にとっては大変有難い事です。

これから、ガバナー補佐としての話をさせていただきます。

ロータリーも101年目に当たりまして、ステンハマーRI会長は「超我の奉仕」というテーマを掲げました。「超我の奉仕」とは、第2回の大会で奉仕というものの話をしたそうです。ところがその時に奉仕というものが余にも強く前に出てしまったので、「ロータリーは自己のためではない」ということで、「奉仕は自己のためではない」と論じられたそうです。これでは自分自身が否定されるということで、その時に「奉仕第一、自己第二」ということを大会で出されたそうです。その時に、自己を超越した奉仕、これが「超我の奉仕」ということで、ロータリーの第2回目の大会で出されたものを今回出してきたと書いてありました。ロータリーは勉強しなくてはならないなと思えました。

萩原ガバナーよりは、

1. 「水保全、保健」「識字率向上、教育」ということで1クラブ1プロジェクトの完遂
2. 財団支援「1人130ドル」、米山奨学事業「受入奨学生30名以上」
3. 増強・増加……1クラブ1名の増強。女性会員を増強(受け入れられる体制を作って頂きたい)

公式訪問時には、市町村長、商工会の責任者の方々のところへ訪問……ロータリー100年誌を持参
クラブ協議会では、各委員長さんより発表していただきますが、あまり質問はされない、人を見る目のある優しいガバナーです。茨城新聞には、週1回ロータリー情報を掲載しており、各クラブより記事の投稿が多いそうです。

来週の公式訪問は大変楽しい公式訪問になるだろうと思います。公式訪問が成功裡に終わりますようお願いいたします。

出席報告 (白井 豊委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク
50名	40名	10名	0名	1名

出席率 82.00%

ニコニコボックス (石塚克己SAA)

- ・誕生祝御礼 会員 松崎会員
 - ・ガバナー補佐の根本様、ご歓迎申し上げます。宜しく御指導の程お願い致します。 青木(清)会員
 - ・根本ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。宜しくお願いします。 熊谷会員
 - ・根本ガバナー補佐、宜しくお願いします。 松村・青木(正) 各会員
 - ・米山奨学金皆様のご協力を得て130万円達成ありがとうございました。今後ともご協力を！ 田上会員
 - ・ライラ・セミナーへのご協力ありがとうございました。 秋田会員
 - ・ソング、声を出さずに終わりました。 五木田会員
 - ・例会欠席しました。 松崎・北村(英)・横山・草間 各会員
 - ・運動会を済ませ、少々羽が生えました。BGM忘れしました。 石塚(克)会員
- 入金計 ¥26,000 累計 ¥800,000

ロータリー情報委員会より 一口メモ

四つのテスト:世界大恐慌のさなか、1932年、倒産寸前のクラブ・アルミニウム社債権のために、ハーバード・テラー(1954年RI会長)が考え、実践したスローガン。RI会長に就任した1954年、その版權をRIに寄贈した。

会報委員会 委員長 横山 修 副委員長 山野井周一 委員 根本恒夫

RI ニュース

職業奉仕こそ 超我の奉仕の実践

四つのテストを本気で採用すべきとき

何年にもわたって、ロータリアンたちは、ロータリーの四大奉仕の第2に当たる職業奉仕をうまく表現しようと努力してきました。というのは、職業奉仕は定義が非常に難しいからです。この重要な奉仕の存在にさらに焦点を当てようと、RI理事会は10月を職業奉仕月間に決めました。

私たちの奉仕の第2世紀を始めるに当たって、より高い倫理基準を確立するという点で、職業奉仕はこれまでにも増して重要となります。私たちの組織が始まって以来、ロータリアンたちは悪しき商習慣をやめさせ、人々の信頼を回復させてきました。それぞれの地域社会や企業のリーダーとして、ロータリアンたちは地域の人々や仕事仲間の尊敬を勝ち得てきました。近年、企業の不祥事や信用のおけないインターネット上の取引が増加する状況下において、ロータリアンたちは人々が信用するに足るサービスを提供することができます。

倫理は、私たちのどのような行動にも必要ですが、特に事業において重要です。今こそ私たち全員が「四つのテスト」を本気で採用すべきときです。「1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるか どうか」という四つの質問を注意深く読めば、成功に必要なすべての要素がそこにあることを私たちはすぐ見つけ出すことでしょ。